



小野田由紀子 議員

### 市民サービスの向上について

**問** 住民票などの証明書が全国のコナビニエンスストアで手軽に受け取れる、コナビニ交付サービスについて問う。

**答** 総務省が取り組む、効率的で災害に強い電子自治体の実現に向けた施策の一環として、財団法人地方自治情報センターと連携し、平成22年より開始されました。現時点では導入の考えはないが、課題を調査、分析を行ない総合的に検討してまいりたいと考えています。

### 予防接種事業について

**問** 予防接種事業の現状について、高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成など、今後の予防接種事業について問う。

**答** 今回、厚生労働省の予防接種部会の会議結果を受け、高齢者肺炎球菌ワクチンを市が助成していくことを考える必要が出てきており、近い将来に高齢者

肺炎球菌ワクチンが定期接種化されるまでの経過的な措置として、75歳以上の高齢者を対象に肺炎球菌ワクチンの助成を実施していきたい。

### 福祉行政について

**問** 生涯現役のまちづくり事業の進捗状況と今後の取り組みについて問う。

**答** 本年度に入ってから、調査研究委員会メンバーを「プログラム調査・実証チーム」、「高浜南部モデル地区チーム」、「吉浜モデル地区チーム」に分けて、より掘り下げた議論を展開し、高浜市商店振興会の会長さんにも調査研究委員会のメンバーとして加わっていただきました。

高浜南部地区におきましては、10月上旬に4日間、「トライアル」と題して、実際にプログラムを実践していただきました。高齢者のやる気を引き出すための仕組みにつきましては、昨年度から元気高齢者応援事業としてスタートした「いきいき健康マイレージ」を活用する方法を考えてまいります。2つの地区につきましては、来年の秋口を目途に、本格稼働し、他の地区においても、次年度以降、順次スタートさせたいと考えてます。



鈴木勝彦 議員

### 平成25年度予算編成に向けて

**問** 平成25年度予算編成における考え方は。

**答** 平成25年度は「第6次総合計画」の3年目を迎え、前期基本計画の最終年度にあたるので将来都市像である「思いやり支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかほま」に向けて新たに中期基本計画へとつなぐ非常に重要な年度であると認識しています。予算編成にあたっては、「高浜市の未来へつなぐ予算」と位置付け、「総合計画の着実な推進」、「重点施策への財源配分」、「予算編成手法の見直し」の3つの基本的な考え方に基づき、予算編成前の課題の明確化、重点施策の明確化、そして、市全体の経営マネジメントを実現するための予算編成会議の設置など新しい予算編成の手法を導入し取り組んでいます。

**問** 新たな予算編成手法を取り入れた理由は。  
**答** 第6次総合計画に掲げる

「メリハリのある予算編成」を実現するために、2度にわたる事業仕分け、その後の行政評価を実施した中で、各所管グループが事業の本質に立ち返り、事業を改めて考え直すといった体制を構築した上で、次なる中期基本計画に繋げていきたいという思いが背景にあり、所管グループが責任を持って予算編成に挑むことができるよう、財政担当による査定を廃止しました。また、全庁が一体となって予算編成、市のマネジメントに挑むことができる体制を構築するために、副市長をトップに、「予算編成会議」を設置し、政策、施策的予算の全庁的な優先順位付け、市税収入に関する調整など、総合的、横断的な調整を行うこととしました。

**問** 平成25年度予算編成に当たり責任を持ってやり遂げる覚悟とそれ以後もリーダーシップを発揮して決断と実行力で市民の願いを叶えていく自信があるか。  
**答** 引き続き、市民のご支援がいただけるのであれば、平成25年度の予算編成並びに執行に責任を持ち、行政のマネジメント力の強化を、さらに進めていきたいと思っております。